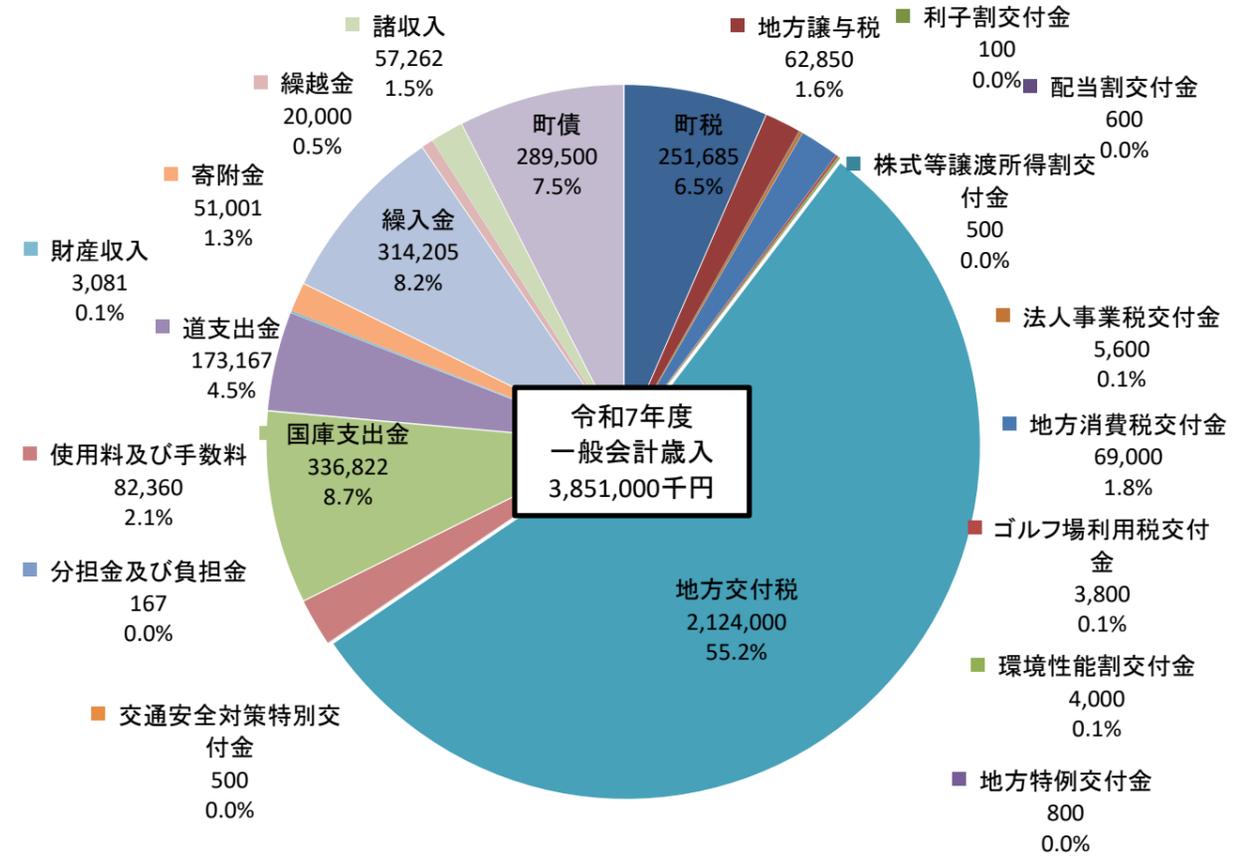


令和7年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率	
一般会計	3,851,000	3,938,000	△ 87,000	△ 2.2	
特別会計	国民健康保険	349,572	352,987	△ 3,415	△ 1.0
	国民健康保険診療所事業	148,487	166,785	△ 18,298	△ 11.0
	後期高齢者医療	63,465	63,792	△ 327	△ 0.5
	介護保険事業	520,572	520,738	△ 166	△ 0.0
	小計	1,082,096	1,104,302	△ 22,206	△ 2.0
企業会計	簡易水道事業(収益的収支)	170,905	161,085	9,820	6.1
	簡易水道事業(資本的収支)	323,426	188,301	135,125	71.8
	公共下水道事業(収益的収支)	171,386	131,924	39,462	29.9
	公共下水道事業(資本的収支)	88,372	308,761	△ 220,389	△ 71.4
	小計	754,089	790,071	△ 35,982	△ 4.6
合計	5,687,185	5,832,373	△ 145,188	△ 2.5	



■ 予算編成方針

我が国の経済状況は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される一方、物価上昇や中東地域をめぐる情勢等の影響に十分注意する必要があると指摘されています。

「経済財政運営と改革の基本方針2024」においては、33年ぶりの高水準の賃上げ、史上最高水準の設備投資など、デフレから完全に脱却し、成長型の新しい経済ステージへと移行する千載一遇のチャンスを迎えている中で、こうした前向きな動きを中小企業、地方経済でも実現し、新たなステージに向けて歩みを進めるため、デフレから完全脱却し、日本経済を新たなステージへと移行させるためのビジョンと戦略を示すとともに、少子高齢化や人口減少を克服し、持続可能な経済社会の実現を進めていくこととされています。

また、将来的に人口減少が見込まれる中で、生産性向上等を通じて潜在成長率を高め、成長と分配の好循環により、少子高齢化・人口減少を克服し、DX・GXをはじめとする投資の拡大など、成長力を高める取り組みが必要であり、人口減少が本格化する2030年度まで、こうした経済構造への変革を起こすラストチャンスとして、今後3年程度で必要な制度改革を含め集中的な取り組みを講じていくとしています。

愛別町の令和5年度決算においては、実質収支では164,090千円の黒字であり、また、財政健全化法に基づく財政指標についても、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内です。一方で経常収支比率については、高い水準で推移しており、財政構造の硬直化が一層進んでいます。今後においても人口減少による町税、普通交付税の減少が見込まれるなど歳入面において厳しい状況が予想されます。

令和7年度当初予算については、「第11次愛別町振興計画」の6年目を迎え、これまでの振興計画の成果を継承しながら、新たな視点で事務事業評価を實踐し、住民生活の充実に寄与できるよう、諸般の行財政の現状を十分に認識しながら、健全で持続可能な財政運営と振興計画の基本テーマである「子どもの笑顔がやぐ恵みの大地 あいべつ」の実現に向けた予算編成を基本方針として予算編成を行いました。

